

6. 計画の評価及び事業展開

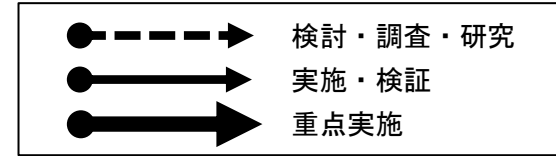
6.1 本計画の評価

本計画に掲げた事業の実施状況や計画の目標の達成状況については、計画及び事業が効果的・効率的に進捗しているかといった観点から、協議会において定期的な評価を行います。
















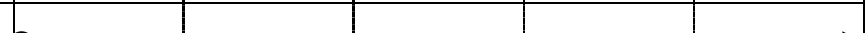
- 計画記載事業の評価については、より短期的・定期的実施すべきとの視点から、毎年度終了時に評価を実施する。
- 可能な限り定量的に評価を実施することが重要であるが、実績や収支等といった指標値を通して事業の可否を判断することが目的ではなく、定性的な評価（市民や利用者の価値観等）や外部効果等も総合的に判断し、計画全体の進捗を図ることを目的とする。
- 事業が効果的・効率的に実施されておらず、計画目標の達成を阻害している場合には、事業の実施方法を見直し、改善を行う。
- 事業が十分に効果的・効率的に実施されているにも関わらず、計画目標が達成されていない場合には、事業内容が本計画の目標に照らして適切でない可能性もあるため、必要に応じて、事業内容の見直しを行う。

6.2 事業展開

計画期間内において、各事業は以下の展開で進めます。



■基本方針1 地域や社会情勢に応じて、持続可能な公共交通体系の充実に取り組むことで、活力と魅力ある地域づくりを支援する

施策	取り組み	令和2 (2020)年度	令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	令和6 (2024)年度
1-1 鉄道・路線バス・タクシーの維持・活性化	鉄道・路線バス・タクシーの運行及び改善					
	乗務員確保の支援					
1-2 コミュニティバスの運行	きのつバスの運行及び改善					
	かもバスの運行及び改善					
	やましろバスの運行及び改善					
1-3 市民意識の醸成	地域ワークショップ*、座談会の開催					
	公共交通標語の募集・展開					
	バス停留所ネーミングライツ*等の実施					
1-4 魅力の発信	観光施設へのアクセスサイン充実					
	観光路線バスと連携したPR					
	広域的な観光連携による利用促進					
1-5 定期的な利用実態の把握	利用動向モニタリング*の実施					

■基本方針2 鉄道・バス・タクシー等が連携し、公共交通分担率*や満足度が高い公共交通利用環境づくりに取り組む

施策	取り組み	令和2 (2020)年度	令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	令和6 (2024)年度
2-1 情報提供の充実	きづがわ公共交通だよりの発行	●				→
	時刻表（のるなび）の作成	●				→
	バス停留所デザインの検討			●	→	→
	交通結節点*における情報提供の実施	●	→			→
	ホームページによる情報提供の充実	●				→
	公共交通データ整備及びMaaS*等移動サービスの研究・導入	●				→
2-2 利用機会の提供	乗り物体験学習の実施	●				→
	1日フリー乗車券の発行	●				→
	観光マップの作成・スタンプラリーの実施				●	→
	コミュニティバス1日無料dayの実施	●	→	●	検証	→
	運転免許証返納者への新たなサービスの検討	●	→	●	検証	→
	バス・エコファミリー*への参画	●				→
2-3 乗継利便性の向上	鉄道と路線バス、コミュニティバス間の連携・接続を考慮したダイヤ改正	●				→
2-4 車両の利便性の向上	バリアフリー車両の導入促進			●	→	→
	コミュニティバス車両デザインの検討			●	→	→